

アスチルベ
Astilbe × arendsii
 (ユキノシタ科)

山野に自生するアワモリショウマ (*A. japonica*) の仲間であるが、切り花として栽培されているのはドイツで育成された *A. × arendsii*。筒状の花弁から飛び出した雄しべが花弁のように見える。
 水あげが悪く、萎れやすい。STS剤による前処理は有効であるが、後処理剤の効果はない。

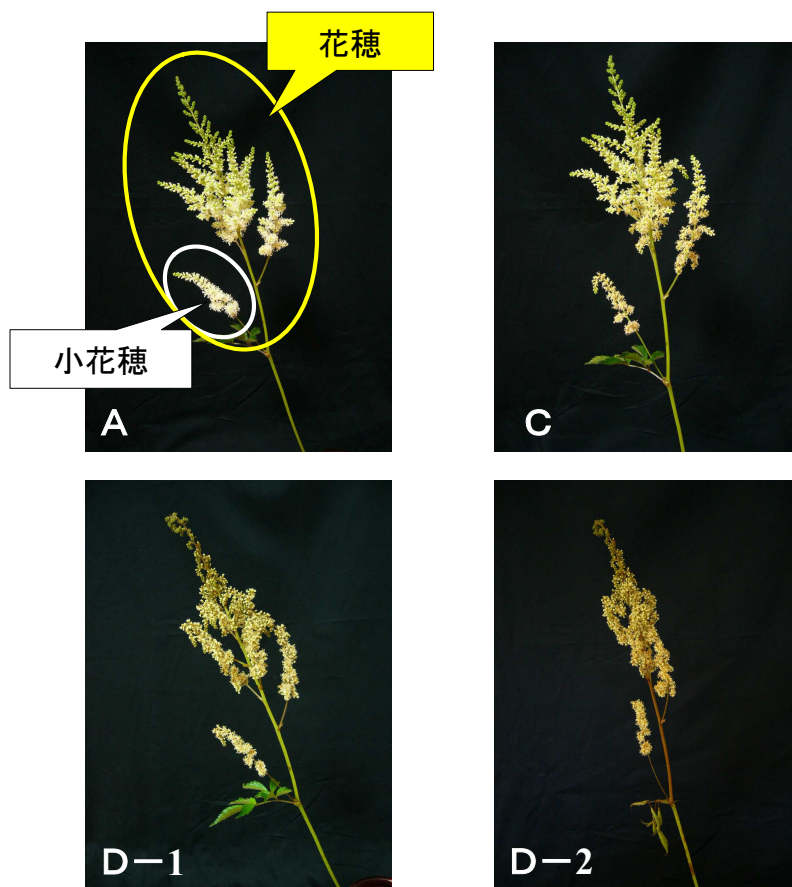
1) 品質評価基準

項目	判定基準	備考
小花の変色・褐変	A: 変色・褐変した小花がない B: 小花の変色・褐変が始まる C: つぼみの枯死および開花小花の1/2未満が変色・褐変 D: つぼみの枯死および開花小花の1/2以上が変色・褐変	
花穂の垂れ	A: 垂れた小花穂がない C: 1~2の小花穂の先端が垂れる D: 小花穂の1/2程度の先端が垂れる	
葉の褐変	A: 健全 C: 葉が内側に巻く D: 葉が褐変, 枯死	
その他		

2) 留意点

水あげが悪く、急速に小花穂が垂れ、C、Dの症状を示すので毎日調査をする。
 後処理剤を使用すると糖による高浸透圧で吸水が悪くなり、葉が内側に巻き、褐変する。
 リファレンステストでは後処理剤の希釈倍率を所定の2倍にするか、水道水を使用する。

3) 開花



4) チェック事項

花穂の垂れ, 小花の枯死



葉の枯れ

